

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産は、保有していない。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却は定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準

・賞与引当金 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

・退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における自己都合要支給額の見積額を計上している。

・貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。
- (5) 消費税の会計処理
税込み方式によっている。
- (6) 適用する会計基準
「平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会」による公益法人会計基準を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)				
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
投資有価証券	496,435,573	35,640,366	50,315,756	481,760,183
預金	3,564,427	114,939,423	100,264,033	18,239,817
小 計	500,000,000	150,579,789	150,579,789	500,000,000
(指定正味財産に係る特定資産)				
担い手事業運用財産	77,831,282	120,118,979	121,713,584	76,236,677
農地保有合理化事業運用資産	133,102,847	563,468,370	563,468,370	133,102,847
建物・構築物	270,555	0	135,270	135,285
機械及び装置	17	0	0	17
車両運搬器具	1	0	0	1
什器備品	1	0	0	1
小 計	211,204,703	683,587,349	685,317,224	209,474,828
(その他の特定資産)				
一般事業調整積立資産	1,817,601	0	0	1,817,601
小 計	1,817,601	0	0	1,817,601
合 計	713,022,304	834,167,138	835,897,013	711,292,429

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
(基本財産)				
投資有価証券	481,760,183	481,760,183	0	0
預金	18,239,817	18,239,817	0	0
小 計	500,000,000	500,000,000	0	0
(指定正味財産に係る特定資産)				
担い手事業運用財産	76,236,677	76,236,677	0	0
農地保有合理化事業運用資産	133,102,847	133,102,847	0	0
建物・構築物	135,285	135,285	0	0
機械及び装置	17	17	0	0
車両運搬器具	1	1	0	0
什器備品	1	1	0	0
小 計	209,474,828	209,474,828	0	0
(その他の特定資産)				
一般事業調整積立資産	1,817,601	0	1,817,601	0
小 計	1,817,601	0	1,817,601	0
合 計	711,292,429	709,474,828	1,817,601	0

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金 当期末残高	債権の当期末残高	備 考
未収金	1,194,173	9,800	1,184,373	
就農支援資金貸付金	699,000	699,000	0	
合 計	1,893,173	708,800	1,184,373	

7. 債務保証等の偶発債務

債務保証等の偶発債務はない。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益	備 考
第108回利付国債	99,790,949	101,177,000.0	1,386,051	
第117回利付国債	151,312,909	152,475,000	1,162,091	
岡山県平成30年度第2回公募公債	52,000,000	49,899,200	△ 2,100,800	
岡山県平成30年度第3回公募公債	50,000,000	47,825,000	△ 2,175,000	
岡山県令和7年度第1回公募公債	35,500,000	34,630,250	△ 869,750	
政府保証第433号日本高速道路保有・債務 返済機構債	98,906,050	72,610,000	△ 26,296,050	
39回 SBIホールディングス社債	30,000,000	29,292,000	△ 708,000	
日本生命第5回劣後ローン (期限前償還条項付無担保社債)	30,276,848	27,903,000	△ 2,373,848	
第42回光通信社債	70,000,000	68,481,000	△ 1,519,000	
ソフトバンク株式会社第24回無担保社債	14,565,136	14,083,500	△ 481,636	
合 計	632,351,892	598,375,950	△ 33,975,942	

9. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表 記載区分
農地中間管理機構運営事業費補助金	岡山県	0	139,816,603	139,816,603	0	—
借受農地管理等事業費補助金	岡山県	0	2,851,924	2,851,924	0	—
遊休農地解消緊急対策事業費補助金	岡山県	0	338,023	338,023	0	—
農地売買事業等活動推進事業費補助金	岡山県	0	6,000,000	6,000,000	0	—
農業体験実践事業補助金	岡山県	270,574	0	135,270	135,304	指定正味財産
農地保有合理化事業特別強化費補助金	岡山県	133,102,847	563,468,370	563,468,370	133,102,847	指定正味財産
合 計		133,373,421	712,474,920	712,610,190	133,238,151	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	135,270
償却原価法適用債券の受取利息相当額	6,362,519
補助金の使用による振替額	0
寄付金の使用による振替額	1,594,605
合 計	8,092,394

11. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

法人等の名称	住 所	出捐金の割合	関係内容	取引内容	取引金額	科目	期末残高
岡山県	岡山市北区内山下	75.0%	出捐団体	農地中間管理機構運営事業費補助金	139,816,603	受取補助金	0
〃	〃	〃	〃	借受農地管理等事業費補助金	2,851,924	受取補助金	0
〃	〃	〃	〃	遊休農地解消緊急対策事業費補助金	338,023	受取補助金	0
〃	〃	〃	〃	農地売買事業等活動推進事業費補助金	6,000,000	受取補助金	0
〃	〃	〃	〃	三徳園管理受託料	28,652,369	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	農業経営・就農支援センター事業受託料	10,764,000	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	農業体験教育推進事業受託料	585,000	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	就農準備講座受託料	588,000	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	三徳園担い手サポートプログラム強化事業受託収益	27,765,000	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	三徳園農福連携推進事業受託料	309,000	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	新規就農者等促進総合支援事業受託料	3,774,000	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	農福連携技術支援者育成研修事業等収益	74,750	受託事業収益	0
〃	〃	〃	〃	三徳園施設利用料	21,400	実践体験収益	0
〃	〃	〃	〃	三徳園内研修農場生産物販売受託手数料	1,304,359	実践体験収益	0
				収入計	222,844,428		
岡山県	岡山市北区内山下	75.0%	出捐団体	県分庁舎、県民局使用料等	2,881,677	使用料賃借料	842,756
〃	〃	〃	〃	県有農地賃借料	471,723	支払賃借料	0
〃	〃	〃	〃	三徳園内職員駐車場利用料	132,000	預り金	0
〃	〃	〃	〃	三徳園内研修農場農産物販売受託代金支払	7,037,259	預り金	288,571
				支出計	10,522,659		

12. 金融商品の状況

(イ) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、主に債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(ロ) 金融商品の内容及びそのリスク

金融商品の内容は、日本国債、岡山県地方債、政府保証日本高速道路・債務返済機構債、SBIホールディングス社債、日本生命社債、光通信社債及びソフトバンク社債であり、そのリスクは発行体のリスクによる。

(ハ) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資金運用規則に基づく取引

金融商品の取引は、公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団資金運用規則に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団資金運用規則に基づき管理を行う。